

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	災害時医療提供推進事業		
事業担当	市民病院 病院総務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心して生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、病院	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 地域住民】		
目的・目標		事業の概要	
災害時の患者の受入れや医療体制が最大限発揮できるように、病院職員・住民ともにその役割を理解し、実践的訓練が行われています。		災害時に医療拠点病院としての機能を発揮するため、地域住民も参加する実践的な災害対応訓練等を実施します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	訓練実施回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	1	1	1	1	
	実績	1	1	0		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	訓練参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	200	200	200	200	
	実績	215	218	0		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	③：遅れている					
	遅れている理由	新棟整備に伴う仮設救急棟他への移転時期が重なり中止となったため。				
平成24年度の主な取組と成果						
日本DMATの研修や国、県主催の訓練及び平塚市総合防災訓練、大磯消防との訓練等に参加しましたが、地域住民が参加する災害対応医療訓練は、新棟整備に伴う仮設救急棟他への移転時期が重なったため、中止となりました。						
平成24年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地震発生後の病院職員による対応訓練等の実施は、各自が何をすべきかを自覚させるために必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	災害時医療拠点病院として機能するよう、毎年継続して訓練することにより有効となります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	災害時における病院機能を発揮するため、地域住民の参加する実践的な訓練をすることで、各職場における防災対策への意識付けができ、妥当と考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	国・県等が主催する訓練等に参加し、最新の訓練を院内に取り入れることができ、大きな成果を上げることができま	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		今後も実践的な避難訓練を実施していきますが、全病院職員の防災意識を高め、さらに災害時の対応能力を向上させていくことが課題です。また、新棟整備に伴い敷地内の施設の変更があり、訓練を行う場所等の確保が必要です。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		地域住民も参加する訓練の実施	地域住民も参加する訓練の実施	地域住民も参加する訓練の実施	地域住民も参加する訓練の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	275	67	0	400
事業費 (A)		275	67	0	400
執行率 (%)		91.67	22.33	0.00	
内訳	職員 (人)	0.23	0.23	0.23	0.23
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		1,900	1,864	1,844	1,829
フルコスト (A+B)		2,175	1,931	1,844	2,229

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	地域住民も参加する実践的な災害対応訓練等を実施します。
課長コメント	災害時に医療拠点病院としての機能を発揮するため、地域住民の理解を得た上で、地域住民が参加する実践的な訓練を実施することは有意義です。